

丹波篠山市立西紀中学校 学習や生活に関する学力向上プラン【1年生】

【丹波篠山市学力・生活習慣状況調査の概要】

○本校1年生の全体的な状況○

- どの設問項目においても、肯定的な回答をしている生徒が多く、おおむね良好な結果が見られました。
- 【家族の支え】の設問に対しては肯定率100%で、家族がかけがいのない存在であり、「自分の気持ちをわかってくれる」「家が心安らく場所である」「家族は自分の気持ちをわかってくれている」と思っています。一方、「本当につらいことがあったとき、それを家の誰かに相談できますか」という設問に対しての肯定率は70%で、家族から愛されていると感じつつも、相談することで心配をかけたくないという思いも見られました。
- 「今のクラスが好きですか」という設問に対する肯定率が100%であり、いじめに対する不安を感じている生徒も少なく、良好な学級づくり・人間関係の形成ができていると考えられます。
- 社会参画への意欲も高く、「ボランティア活動や地域の行事に積極的に参加し、楽しいと感じている」「将来に対する夢や目標を持っている」生徒が多く、保護者・地域の方々が生徒たちに活躍の場と、期待感を持って見守っていただいているからだと考えています。

○課題と対応○

国語

国語科における「関心・意欲・態度」「話す・聞く」において、目標値に達成しており、高い数値を示しています。これまでの小学校における学習の中で、学習してきた成果であると考えます。意欲的に学ぼうという姿勢があり、今後、中学校の学習の中で、さらに伸びていくと思われます。課題としては「漢字を書く」分野が上げられます。今後、漢字・語句の知識を増やすとともに、漢字の意味や成り立ちの学習に力を入れ、漢字・語句の力をつけていきたいと考えています。また、「調べたことをもとに資料を書くこと」に課題が見られました。国語の時間の中で、書くことに対する抵抗感をなくし書くことを基礎として、豊かな言語活動につながっていくようにしたいと考えています。今後は、【言語活動の充実】を目標に、様々な表現方法を使いながら、書くことに慣れさせるようにしていきます。

数学

数学科では全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な結果が見られました。「単位の異なる速さと道のりから、かかる時間を求める」ことに課題が見られました。今後、時速や分速、秒速の意味の理解を深め、数学だけではなく理科でも、教科横断的に単位の大切さと意味についての理解を深める必要があると考えています。また、「割合の意味」を十分に理解できていない生徒が多いことが明らかになりました。線分図や円グラフなど視覚支援をおこない、イメージしやすい授業づくりに努めたいと考えています。

理科

理科におけるすべての観点において目標値に達しており、おおむね良好な結果が見られました。実験の結果や観察できた現象から、「どんな現象がおこっているのか」「なぜそのような結果になるのか」「なぜそのような現象が見られるのか」を説明することに課題が見られました。今後は、教師の説明や教科書をトレースする実験・観察や、実験・観察をすることだけに時間をかけた授業にならないようにし、生徒が実験・観察を通して発見したこと、考えたことを互いに話し合い、対話と議論のある授業に取り組みます。また、生活経験が乏しい生徒も多いので、体験的に学ぶ機会を充実させたいと考えています。

○保護者のみなさまへ○

特に、周りの人のささえに関する質問において、肯定的な回答をしている生徒がたいへん多く見られました。ほぼ全員の生徒が、家族のことを信頼し、支えられ愛されていると感じているということがわかりました。このエネルギーがあるからこそ、様々なことに前向きに活動できることを感じます。今後も、様々な学年の取組、学校行事を充実し、協力することの大切さを理解させ、更に豊かな人間関係の構築に努めていきたいと考えています。たいへん前向きで意欲的な生徒が多く、素晴らしい集団に成長していくと期待しております。自己肯定感・自尊感情を高められる取組を工夫し、学校でも、しっかりと信頼関係を日々の取組の中でつくり、更なる成長につなげていきたいと考えています。ただ、テレビ・ゲームなどに費やす時間もたいへん長い実態があります。最近の社会的課題となっているネット、SNSの使い方や時間などにつきましても学校でも、継続的に指導を進めていきます。ご家庭でも、ルールづくりやルールの再確認の指導をよろしくお願いいたします。

丹波篠山市立西紀中学校 学習や生活に関する学力向上プラン【2年生】

【丹波篠山市学力・生活習慣状況調査の概要】

○本校2年生の全体的な状況○

- ・学年全体として、肯定的な回答している生徒が多く、全国平均を上回るものが多く見られました。
- ・社会や学級における「規範意識」の設問や、「学級の絆」の設問に対する肯定率が高く、よりよい学級風土が形成できています。このことが、学力調査においても、良好な結果が見られることにつながっていると考えられます。
- ・「夢中になった。おもしろいと思った。やる気が出たという記憶に残っている授業はあるか」「今までの人生の中で心から感動したことがありますか」という設問に対する肯定率が、全国平均より低い傾向が見られ、【感動体験】が少ない傾向が見られます。他の項目と比較すると、【自己肯定感】に若干の低さが見られます。
- ・生活習慣、学習習慣において学年全体として、おおむね良好な結果が見られましたが、テレビやゲームの時間が1日3時間をこえる生徒、午前0時を過ぎてから就寝する生徒など、生活習慣に課題が見られる生徒もいました。

○課題と対応○

国語

国語科における全領域において、目標値に達成しており、高い数値を示しています。これまでの学習の中で、身につけてきたものの成果であると考えます。意欲的に学ぼうという姿勢があり、中学校の学習の中で、さらに伸びていくと思われま。課題を挙げるならば「話すこと・聞くこと」の分野があります。今後、話を聞くときの視点の指導や発表の優れていた点の共有を授業の中でおこなっていきたいと思います。また、「文学作品の内容を読み取ること」に課題が見られました。国語の時間の中で、文章全体を通した登場人物の言動や情景描写、文脈を根拠として登場人物の心情を捉えることを練習していきたいと思います。根拠を持って、考えることを継続して指導していきたいと思います。

数学

数学科では全国平均を上回り、たいへん良好な結果が見られました。ただ、数学的な「資料の活用」領域の「資料の散らばりと代表値」に課題が見られました。今後、既習事項の復習を、5分間プリントや問題演習等に取り組み、確認をおこなっていきたいと思います。また、「数学的に説明する力」にも課題が見られました。授業の中で自分の考えや課題の解き方を生徒間で話し合わせたり、みんなの前で説明する機会を多く取り入れていきたいと考えています。

理科

理科におけるすべての観点において目標値に達しており、おおむね良好の結果が見られました。「身のまわりの物質とその性質」の単元において、物質の性質を理解し分類することに課題が見られました。今後は、科学用語の定義への理解を進めていく必要があると考えます。実験・観察において現象や物質の性質を理解するだけにとどまらず、科学的な見方・考え方としての科学用語の理解に努めます。用語に関する小テストなども適宜おこない、理解度を確認しながら授業を進めていきます。

○保護者のみなさまへ○

特に、規範意識・学級の絆に関する質問において、肯定的な回答をしている生徒が多く見られました。これも、単学級であるという利点を活かして、互いに認め合い、支え合う集団づくりに努めてきた成果だと考えます。このことは、「友だちからのささえ」「先生のささえ」の質問における肯定率の高さにも表れています。今後は、体験的な授業、わかる授業をより進め、生徒が「わかった」「できた」という達成感を感じられる授業にとりくみたいと考えています。同時に、学校行事を通して、リーダーの育成・感動体験・問題解決力の育成に努めていきます。生徒一人ひとりに対する個別の支援・指導によって個々の課題に対応していきます。また、テレビ・ゲームなどに費やす時間もたいへん長い実態があります。最近の社会的課題となっているネット、SNSの使い方や時間などにつきましても学校でも、継続的に指導を進めていきます。ご家庭でも、ルールづくりやルールの再確認の指導をよろしくお願いいたします。